

## 2017年度第1回特定非営利活動法人サロン2002理事会議事録

【日時】2017年4月27日18:30～20:30

【会場】KIZUNA 会議室（東京都中央区八重洲1-6-14 ISO 八重洲201）

【出席】理事：中塚義実、安藤裕一、笹原勉、本多克己、松下徹  
事務局：岸卓巨

【欠席】理事：嶋崎雅規、関谷綾子、竹中茂雄  
監事：茅野英一  
事務局：春日大樹、遠山諒

【議事録作成者】岸卓巨

【議題】

1. 2016年度事業報告・決算
2. 2017年度事業計画・予算
3. その他

### 1. 2016年度事業報告・決算

【会員（正会員、賛助会員）、メンバーの確定】

- 事務局より2016年度NPO法人サロン2002会員・スポネットサロンメンバーに関する会費納入状況等が説明され、2016年度会員・メンバーについては次の通りの人数で合意された。
  - NPO法人サロン2002会員数 29名
  - スポネットサロン2002メンバー数 63名
- 上記人数には、2015年度会費を納入済みで、2016年度会費が未納な会員・メンバーも含む。
- 2015年度、2016年度の2年連続会費が未納な会員・メンバーについては、事務局より改めて会費納入催促のメールを送り、2017年6月10日の総会までに納入されない場合は、NPO法人サロン2002の定款に従って退会扱いとする。

【年次報告書（月例会報告等含む）】

- 各担当者の原稿提出を4月末日締め切りとすることが合意された。
- 春日氏が担当予定であった「公開シンポジウム」についての報告は笹原理事が担当することになったが、同じく春日氏担当の「ノンボーダー・フットボール」については嶋崎理事より春日氏に催促することになった。
- 事務局報告内「事業内容」の修正箇所が確認された。
- 文調は「です・ます」調で揃えることが確認された。
- 完成した年次報告書のPDF版はサロン2002ホームページに掲載することが確認された。

【公開シンポジウム報告書】

- 報告書は4月25日に完成した。5月連休前後で会員およびシンポジウム出席者、後援団体などに発送できるように準備、印刷業者との折衝を進める。

- 本多理事より公開シンポジウム報告書発送の際に賀川浩氏著書の出版案内チラシを同封できないかとの提案があり、株式会社シックスはサロン 2002 の賛助団体であり、著書の内容もサロン 2002 の趣旨と合致するものであることから同封することが合意された。
- 報告書を発送する会員・メンバーについては、2017 年度サロン 2002 会員・メンバーを原則とし、2017 年度退会希望者には発送しないことが確認された。
- サロン 2002 会員・メンバーではない公開シンポジウム参加者には、報告書送付希望の有無と住所を確認した上で送付を行うことが確認された。今年度以降は公開シンポジウム参加申し込みや当日受付の際に、報告書送付希望や報告書への名前掲載可否を確認する。
- 送付先の取りまとめは笹原理事が担当する。

#### 【U-18 フットサル関連事業（toto 決算等）】

- 2016 年度の日本スポーツ振興センターからの助成金が 678,000 円で確定した。5 月末には振り込まれる見込み。
- 本多理事より事前打ち合わせの際の交通費など助成対象とならない経費もあり、最終的に 2016 年度の本事業単体では約 20 万円の赤字となったが、次年度に繋がる大きな実績となったことが報告された。
- 事業実施に伴い中塚理事長・松下理事・安藤理事・本多理事がそれぞれ 20 万円ずつ立て替えていた費用については 5 月末を目処にそれぞれの理事に返金することが確認された。
- 2017 年度事業でも助成額は当該事業費の 4/5 となるため、1/4 は自己資金を確保する必要があり、賛助団体からの会費納入を早めてもらうなどの対応が必要となる。事務局より 2016 年度の賛助団体に早めに依頼を行うことが確認された。また支払いが完了した後で報告を行い助成金が支払われることから、事業費用（U-18 大会予算は 2,849,840 円）については立替、借入などが必要になるため、事前に総会で承認を得ることが必要であることが報告された。

#### 【決算案】

- 理事会での議論を踏まえて、松下理事と岸事務局長で 4 月 29 日に決算案作成に向けたミーティングを行うことが報告された。
- 5 月 2 日に会計監査を行った後、決算案については 5 月 21 日の理事会を経て、6 月 10 日の総会にかけることが確認された。
- 松下理事より 5 月末に国税を納付する予定が報告された。
- 松下理事より 2019 年度から法人税の申告が電子申告のみになる可能性があり、電子申告の機器を所有している松下理事に申告を委任する方向で総会にて合意を取ることが提案された。

## 2. 2017 年度事業計画・予算

#### 【会員（正会員・賛助会員）、メンバーの募集】

- 安藤理事より 4 月末日締め切りで 2017 年度名簿原稿を募集していることが報告された。
- 名簿原稿を 2016 年度の内容から更新不要な場合は、その旨を連絡してもらうように安藤理事から発信することになった。

- 完成した名簿は PDF で発信する他、新会員へはプリントアウトしたものを公開シンポジウム報告書とは別に郵送することが確認された。

#### 【月例会・出張サロン等】

- 通算 249 回目となる 5 月の月例会では、「NPO サロンの事業を考える③（月例会）」（発表者：中塚義実）をテーマに、過去に存在した月例会のルールなどについても触れながら、今後の月例会について考える方向性が合意された。日程は今後調整する。
- 通算 250 回目となる 6 月の月例会については、6 月 10 日（土）に 16 時より筑波大学附属高校にて総会を行い、17 時より意見交換会の形で月例会を開催することが合意された。意見交換会は早めに切り上げ、「月例会 250 回記念」の懇親会を開催する。
- 7 月月例会については、何件かオファーがあるため調整する。
- 8 月月例会は公開シンポジウムとして 8 月 27 日（日）に桐陰会館で開催する方向性が合意された。中塚理事長が会場の空き状況を確認する。

#### 【公開シンポジウム】

- 8 月 27 日（日）に桐陰会館で「サロン 2002 20 周年記念シンポジウム」として開催する方向性が合意された。
- サロンが歩んできた 20 年間（1997～2017）について、人や環境の変化を踏まえながらサッカー・スポーツ界のできごとを振り返るとともに、今後に向けての展望を語る。「2002 年から 2020 年へ」「この 20 年を語ろう」「新世紀のスポーツを語ろう」などがタイトル候補。
- 内容を考えるためのキーワードの例として以下が挙げられた：  
Jリーグ開幕（1993 年）・ドーハの悲劇（1993 年）・インターネットの普及・フットサルはじまる（1994 年）・DUO リーグ開幕（1996 年）・2002 年日韓ワールドカップ開催決定（1996 年）・フランスワールドカップ出場決定（1997 年）・NPO 法施行（1998 年）・ワールドカップ日本代表初出場（1998 年）・長野五輪（1998 年）・日韓ワールドカップ（2002 年）・指定管理者制度導入（2003 年）・スタジアム芝生化・ラグビーワールドカップ招致決定（2009 年）・東日本大震災（2011 年）・オリンピックパラリンピック招致決定（2013 年）
- タイトル、内容など今後サロン 2002 会員などから幅広く募集していく。
- 出席者 100 名を目標とする。
- 報告書は toto 助成で作成するが、「広報誌」への助成金であるため、報告書に月例会の内容も盛り込むなど、これまでの公開シンポジウム報告書から内容を変更する。

#### 【toto 助成について（含フットサル関係）】

- 本多理事より 2017 年度の toto 助成が内定したことが報告された。「U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ 2017」で 1,882,000 円、「広報誌によるスポーツ情報発信」で 347,000 円、あわせて 2,229,000 円。2016 年度の実績が高く評価され、算定評価は A 判定となり、ほぼ申請通りとなった。今年度の U-18 フットサル大会については準備を進行中である。

【オリンピック教育・国際交流関係】

- 中塚理事長より高体連の活動と関連づけて今後の展望が紹介された。

【スキンプロジェクト関係】

- 2016年度は3月のユース選抜フットサルの際に実施した。2017年度の活動については佐藤いちろう氏とも連絡を取りながら進めていく。

【その他事業計画・予算】

- 理事会での議論を踏まえて事業計画書を岸事務局長が、予算案を笹原理事が作成し、次回5月21日の理事会で審議することが確認された。

3. その他

- 6月10日16時より筑波大学附属高校で開催する総会に向けて、事前にNPO会員全体で情報共有しながら進めていくことが確認された。
- 次回理事会は5月21日（日）17時より筑波大学附属高校にて開催する。

以上